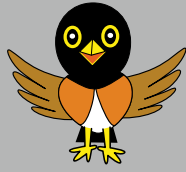


こっこめ通信 07 2021

「初めまして！・久しぶり！」号



八丈島ではアカッコのことを親しみを込めて「こっこめ」とよびます。

新型コロナウイルスの感染拡大防止対策を講じたうえで6月14日より八丈ビジターセンターと温室は再開しております(行事は21日より再開)。臨時休館中も地元の方々からは様々な自然情報がビジターセンターに寄せられ、スタッフは現地調査や体験プログラムの開発などの傍ら、情報の確認作業などで忙しく過ごしていました。そこで今回は初記録特集と新しいセルフガイドシートの紹介、そして久しぶりに開催した行事報告です。

伊豆諸島初記録の鳥と八丈島初記録の虫

★伊豆諸島初記録? 「ミヤマヒタキ」



ミヤマヒタキはヒタキ科サメビタキ属のスズメより小さな鳥で、「日本鳥類目録改訂第7版」によると、日本に渡ってくることは稀な迷鳥で、愛知県、山口県見島、男女群島女島、トカラ列島平島、沖縄島、宮古島、与那国島などで記録されているそうです。

左の写真は、5月30日、鴨川林道において島に住むバーダーの川崎喜弘さんが撮影したものです。ミヤマヒタキは過去に八丈島での正式な記録がなく、八丈島初記録となりました。さらに、伊豆諸島の記録が報告されていないようなので、伊豆諸島初記録かもしれません。

その後、職員も鴨川林道へ何度か行ってみましたが、すでに島から旅立ってしまった後なのか、残念なことに出会えませんでした。

★八丈島初記録! 「クリイロコガネ」



クリイロコガネはコガネムシ科コフキコガネ亜科の甲虫で、八丈島でよく目にするクロコガネが茶色くなったようなコガネムシです。成虫は広葉樹の葉を食べ、幼虫は土の中で植物の根を食べて成長するようです。

このクリイロコガネは、いつも昆虫の情報を知らせてくれる菊池卓さんが持ってきてくれました。過去のデータを調べてみたところ、クリイロコガネの正式な記録は無く、八丈島初記録となりました。

職員が何度か灯火周辺を探しに行きましたが、ナガチャコガネは数頭見つけることができましたが、クリイロコガネは発見できませんでした。菊池卓さんによれば三根地区では数頭確認できたとのことでした。

セルフガイド、ご活用ください!



ビジターセンターでは、毎週土・日・祝日に解説員が季節の話題を盛り込んで公園内を一緒に散歩・ご案内するガイドウォークを実施していました。

しかし、新型コロナの臨時休館で開催できなかった事もあり、5月にセルフガイドシートを作成し、ホームページとTwitterで発信しました。

その後、利用者より6月以降のセルフガイドシートも「是非!」との要望があり、6月より毎月、月初めに発信することとしました。

ビジターセンターのホームページからダウンロードしてお使いいただけますので、植物公園の散歩時には是非お役立てください。

「アカッコ」は日本固有のヒタキ科(旧ツグミ科)の鳥で、国の天然記念物に指定されています。八丈島では一年を通して見られ、町の鳥にも選定されています。

久しぶりの行事「海浜植物観察会」開催！

八丈ビジターセンターではガイドウォークやその他の行事も規模を縮小して再開しています。梅雨時の屋外行事は予定通りに開催できることが少ないものですが、2年振りの開催となった八丈学講座・海浜植物観察会は曇り空の下でなんとか実施することができました。参加者が3名と少なかったのは時節柄致し方のない所です。

行事では八丈島ならではの海浜植物の定義を「島では海岸付近でしか見られない植物」と定め、観察した植物の中からその定義に合う植物をリストアップしました。今回記録した海浜植物は14種でしたが、今年は季節が例年よりも早く進んでいるようで、既に花が咲き終わっている植物が多かった印象があります。

以下に観察風景と記録した海浜植物の中からいくつかを紹介します。(T.K.)



クサトベラ *Scaevola sericea*
八丈島で確認されているクサトベラはこの株だけ



ハマオモト *Crinum asiaticum L. var. japonicum*
島の海岸に欠かせない代表的な海流散布植物



ハマナデシコ *Dianthus japonicus*
ほとんど咲き終わっている中、花が残っていた株



ボタンボウフウ *Peucedanum japonicum*
こちらの花もそろそろ終わりに近づいています



ハマゴウ *Vitex rotundifolia*
実を乾燥させて枕に入れておくと安眠できるとか？



ケカモノハシ *Ischaemum antheplioroides*
カモの嘴？どこが？ 答えを発表すると結構うけます

他に、ハマボッス、イソギク、ハマアザミ、コウボウムギ、ネコノシタ、スカシユリ、イヨカズラ、ハマボウフウの計14種。

八丈植物公園季節調査会の報告

八丈ビジターセンターでは、毎月第二日曜日に、植物公園の生きものを観察して季節を感じてもらう目的で「八丈植物公園季節調査会」を開催しています。季節の変化を感じられる植物は全て記録し、野鳥や昆虫の様子も観察しています。この6月も「緊急事態宣言」の期間延長に伴い、ビジターセンターも臨時休館期間が更に延長され、スタッフだけで実施しました。

八丈植物公園季節調査（2021年第6回）参加者：VC木下，長谷川，菊池

NO.	和名（島名）	状態	NO.	和名（島名）	状態	NO.	和名（島名）	状態
草本			35	ハルジオン	花	24	ホルトノキ	蕾
1	アオノクマタケラン	花	36	ヒナギキョウ	花と実	25	モッコク	蕾
2	アメリカスズメノヒエ	花	37	ヒメクグ	花	26	ヤブツバキ	実
3	イヌガラシ	花と実	38	ヒメコパンソウ	実	27	ヤブニッケイ	若い実
4	イヌクグ	花	39	ヒメジョオン	花	シダ植物		
5	イワニガナ	花	40	ヒメヨツバムグラ	花と実	1	イシカグマ	
6	ウスベニニガナ	花と実	41	ヘラバヒメジョオン	花	2	ウチワゴケ	
7	ウラジロチチコグサ	花	42	ムラサキカタバミ	花	3	オオイタチシダ	
8	オオニワゼキショウ	花と実	43	メヒシバ	実	4	オオタニワタリ	
9	オオバコ	実	44	ヤマヌカボ	実	5	オニヤブソテツ	
10	オニタビラコ	花	45	ヨツバハコベ	花と実	6	カニクサ	
11	オニドコロ	蕾	木本			7	スギナ	
12	カタバミ	花と実	1	アオキ	若い実	8	タチクラマゴケ	
13	カニツリグサ	実	2	アカメガシワ	若い実	9	タチシノブ	
14	ギシギシ	実	3	イタビカズラ	実	10	タマシダ	
15	キランソウ	花	4	イヌビワ	実	11	トラノオシダ	
16	ケキツネノボタン	花と実	5	ウツギ	実	12	ナチシケシダ	
17	コケリンドウ	花	6	エノキ	実	13	ナチシダ	
18	コメツブツメクサ	花と実	7	オオシマザクラ	熟した実	14	ノキシノブ	
19	シマササバラ	実	8	オオバヤシャブシ	若い実	15	ハチジョウカナワラビ	
20	シロツメクサ	花	9	オオムラサキシキブ	花	16	ハチジョウシダ	
21	セイヨウタンポポ	花と実	10	ガクアジサイ	花、盛り	17	ハチジョウベニシダ	
22	タチスズメノヒエ	花	11	カラスザンショウ	蕾	18	ハマハナヤスリ	
23	チチコグサ	実	12	クワ sp.	実	19	ヒトツバ	
24	チチコグサモドキ	実	13	コハクサンボク	若い実	20	ヘラシダ	
25	ツメクサ	花と実	14	スイカズラ	花	21	ホシダ	
26	トウバナ	花と実	15	タイミンタチバナ	実	22	ホラシノブ	
27	トキワハゼ	花	16	テイカカズラ	花	23	マメツタ	
28	ドクダミ	花	17	トベラ	実	24	ミゾシダ	
29	ナギナタガヤ	花	18	ハチジョウイボタ	花	25	ヤマイタチシダ	
30	ニワゼキショウ	花と実	19	ハチジョウキブシ	実	今回は、シダ植物 25 種を含む 97 種の植物を観察しました。昆虫ではツツジの害虫ルリチュウレンジや、最近増えてきたリングカミキリが目立ち、コシアキトンボも飛び始めました。		
31	ネジバナ	花	20	ヒサカキ	実			
32	ハキダメギク	花と実	21	ヒメコウゾ	実			
33	ハナヌカススキ	実	22	ヒメユズリハ	若い実			
34	ハハコグサ	花と実	23	ホウライカズラ	蕾			

八丈島では、内地と少し様変わりした種や独自に進化した種など、聞き慣れない種があるのが特徴です。今回は、「シュリマイマイ」にスポットを当ててみたいと思います。



シュリマイマイ *Satsuma mercatoria*

本来は沖縄本島とその周辺の島にだけ生息する大型のカタツムリです。八丈島では 15 年程前に初めて移入種として確認され、ここ数年の間に急に数を増やしています。八丈島には他に奄美地方にルーツを持つオオシママイマイも移入していますが、こちらはシュリマイマイと入れ替わるように数が減ってきているように思えます。移入種とは言え、この両種が生息しているのは今のところ八丈島だけらしいので、2 種の関係が今後どのように変化していくのか気になります。島にとっては迷惑な移入種ですが、このように新しい興味の対象になることもあります。(T.K.)

2021 八丈ビジターセンター 7 プログラムカレンダー

日付の下に書かれている時刻は、八丈島(神湊)の潮の満ち引きの時刻です。
また日付の横は月の満ち欠けです。

日	月	火	水	木	金	土
この色の日は ガイドウォークや 特別行事があります				1	2	3 ガイドウォーク
4 ガイドウォーク	5	6	小暑 7	8	9	10 ガイドウォーク
11 ガイドウォーク 植物公園季節調査会	12	13	14	15	16	17 ガイドウォーク
18 ガイドウォーク	19	20	21	大暑 22 ガイドウォーク	23 ガイドウォーク	24 ガイドウォーク 八文学講座 「大里歴史散歩」
25 ガイドウォーク	26	27	28	29	30	31 ガイドウォーク

イベントプログラム

植物公園季節調査会

植物公園内で動植物の調査をしながら季節の変化を一緒に感じましょう！
7/11(日) (13:30～15:00) 中学生以上
ビジターセンター集合・解散 無料 定員：10名

八文学講座 「大里歴史散歩」

毎月行っている八文学講座。今月は優婆夷宝明神社周辺の歴史的遺物を訪ねます。
7/24(土) (13:30～15:00) 中学生以上
ふるさと村駐車場 集合・解散 参加費：50円 定員：10名

植物公園ガイドウォーク

解説員が植物公園内をご案内します。
毎週 土日及び祝日、(10:30～約1時間) だれでも参加できます。
ビジターセンター集合・解散 無料 定員：10名

ビデオプログラム

10:00～ 八丈・海・生きものたち

11:00～ おじゃりやれ 八丈島

14:00～ おじゃりやれ 八丈島

15:00～ おじゃりやれ 八丈島

16:00～ 八丈・海・生きものたち

当面の間は上記のみの上映になります

東京都八丈ビジターセンター 2021.7.1 第242号

開館時間 9:00～16:45 年中無休(入館無料)
〒100-1401

東京都八丈島八丈町大賀郷2843

電話：04996-2-4811 Fax：04996-2-4888

E-mail：info@hachijo-vc.com

http://www.hachijo-vc.com

編集後記

「低く垂れ込めた雲の下をホトギスが鳴きながら飛んで行く。」このシーンは個人的に最も八丈島らしい景色だと思っているのですが、大いに異なる意見がありそうですね・・・。ホトギスの声がピークを過ぎれば、八丈島も夏本番です。(T.K.)